

## マサチューセッツ州、ノースカロライナ州のイノベーション企業等を訪問 ～経済広報センターがミッションを派遣～

期 間： 2019年5月30日(木)～6月4日(火)

参 加： 商社、エネルギー、不動産、生保、通信、非鉄金属、重工業などの  
企業・団体から11名

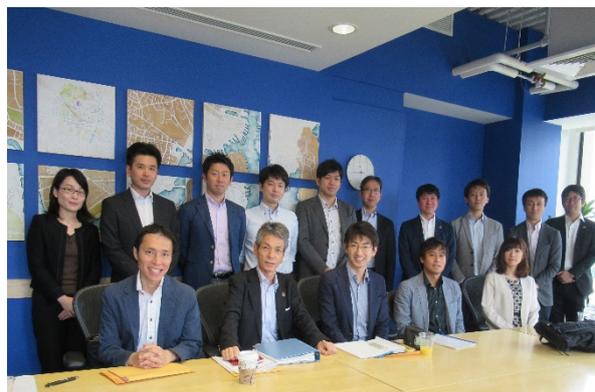
コーディネーター： 山本 幸恵 経済広報センター国際広報部主任研究員

経済広報センターは、5月30日から6月4日にかけて、米国のイノベーション最新事情を調査するとともに、スタートアップや大学研究機関等との交流・連携を拡大すべく、ミッションを派遣した。商社、エネルギー、不動産、生保、通信、非鉄金属、重工業等の企業・団体から11名が参加し、米国有数の学術都市として知られるマサチューセッツ州ボストン周辺及びノースカロライナ州リサーチトライアングル地域を訪問。スタートアップや起業支援機関、マサチューセッツ工科大学（MIT）、デューク大学、ノースカロライナ州立大学等教育機関関係者らと懇談した。

当センターが、イノベーション・スタートアップ調査ミッションを派遣するのは、2017年度、18年度に続いて3回目となる。

まず、ボストンでは、MIT発のハイテク企業25社が集う「スタートアップ・エコシステム・カンファレンス」に参加。在ボストン日本国総領事館からボストンのスタートアップを取り巻くエコシステムについて説明を受けた後、3Dプリンティング、機械学習、AI、天気予報システム開発等、幅広い分野のスタートアップ各社と個別に意見交換を行った

続いてノースカロライナ州では、デューク大学関係者から、同大学と同地域に拠点を置くスタートアップとの密接な連携状況について聞くとともに、同大学発祥スタートアップの研究施設を視察。そのほか、スタートアップ育成を支援するインキュベーターや共同ワーキングスペースも見学し、日米のイノベーション事情について議論した。



以上